



2023年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年3月13日

上場会社名 アイ・ケイ・ケイホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 2198 URL <https://www.ikk-grp.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長CEO (氏名) 金子 和斗志

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 永島 和也

TEL 050-3539-1122

四半期報告書提出予定日 2023年3月16日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年10月期第1四半期の連結業績(2022年11月1日～2023年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第1四半期	4,912	26.0	362	201.2	369	68.0	180	△0.0
2022年10月期第1四半期	3,897	105.1	120	—	220	—	180	—

(注)包括利益 2023年10月期第1四半期 195百万円 (5.5%) 2022年10月期第1四半期 185百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年10月期第1四半期	6.15	—
2022年10月期第1四半期	6.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年10月期第1四半期	18,316	8,687	47.3
2022年10月期	20,251	9,170	45.1

(参考)自己資本 2023年10月期第1四半期 8,654百万円 2022年10月期 9,139百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年10月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年10月期	—	—	—	—	—
2023年10月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年10月期の連結業績予想(2022年11月1日～2023年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,890	29.9	415	—	430	155.9	230	88.2	7.79
通期	21,780	14.3	2,200	21.6	2,230	6.4	1,500	7.2	51.09

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) — 、 除外 — 社 (社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料7ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年10月期1Q	29,956,800 株	2022年10月期	29,956,800 株
-------------	--------------	-----------	--------------

② 期末自己株式数

2023年10月期1Q	1,007,949 株	2022年10月期	427,349 株
-------------	-------------	-----------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年10月期1Q	29,301,428 株	2022年10月期1Q	29,397,812 株
-------------	--------------	-------------	--------------

(注)自己株式については、当四半期連結会計期間末にアイ・ケイ・ケイホールディングス従業員持株会専用信託が所有する341,000株を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年11月1日から2023年1月31日まで)におけるわが国経済は、長期化する新型コロナウイルス感染症による規制が緩和され、社会経済活動も徐々に持ち直しの動きが見られました。しかしながら、ロシアのウクライナ情勢など地政学的リスクに加え、円安の進行による急激な国内物価上昇など経済的リスクも高まっており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

ウェディング業界におきましては、社会経済活動の回復に伴い集客イベント等も再開され挙式・披露宴の施行数は漸増傾向にあります。

このような状況の下、当社グループは、引き続きお客さまと社員の安全・安心を最優先事項と考え、最大限の感染防止対策を徹底したうえで挙式・披露宴を実施してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,912百万円(前年同四半期比26.0%増)、営業利益は362百万円(同201.2%増)、経常利益は369百万円(同68.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は180百万円(同0.0%減)となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 婚礼事業

新型コロナウイルス感染症による様々な規制が緩和されるなか、引き続き感染防止対策を徹底したうえで挙式・披露宴を実施してまいりました。

その結果、前年同四半期と比較し、婚礼組数が増加したことから売上高は4,696百万円(前年同四半期比25.7%増)、営業利益は376百万円(同220.9%増)となりました。

② 介護事業

売上高は140百万円(前年同四半期比1.7%増)、営業利益は2百万円(同2.9%増)となりました。

③ 食品事業

売上高は66百万円(前年同四半期比55.9%増)、営業利益は14百万円(同56.0%増)となりました。

④ フォト事業

前連結会計年度(2021年11月)にフォト事業を展開する子会社を設立し、売上高は43百万円、営業損失は16百万円(前年同四半期は6百万円の営業損失)となりました。

⑤ 結婚仲介事業

前連結会計年度(2021年11月)に結婚仲介事業を展開する子会社を設立し、売上高は1百万円、営業損失は14百万円(前年同四半期は2百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ1,934百万円減少し18,316百万円となりました。これは主に、現金及び預金1,917百万円、売掛金が189百万円それぞれ減少し、有形固定資産が376百万円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,451百万円減少し9,629百万円となりました。これは主に、買掛金が382百万円、未払法人税等が779百万円、流動負債その他が717百万円それぞれ減少し、長期借入金557百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ482百万円減少し8,687百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益180百万円の計上による増加、剰余金の配当299百万円及び自己株式の取得399百万円による減少によるものであります。以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.2ポイント上昇し47.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月12日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,891,686	3,974,198
売掛金	459,639	269,836
商品	240,238	218,557
原材料及び貯蔵品	82,897	85,499
その他	537,053	528,764
貸倒引当金	△7,974	△3,920
流動資産合計	7,203,541	5,072,935
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,794,750	7,670,833
土地	1,850,919	1,850,919
その他(純額)	637,344	1,138,006
有形固定資産合計	10,283,014	10,659,759
無形固定資産	160,306	161,591
投資その他の資産		
差入保証金	1,447,559	1,410,083
その他	1,157,087	1,012,344
投資その他の資産合計	2,604,647	2,422,428
固定資産合計	13,047,967	13,243,779
資産合計	20,251,509	18,316,714
負債の部		
流動負債		
買掛金	853,784	471,529
短期借入金	2,150,000	2,150,000
1年内返済予定の長期借入金	774,796	839,492
未払法人税等	785,757	6,149
賞与引当金	296,569	165,483
その他	2,743,857	2,026,811
流動負債合計	7,604,765	5,659,465
固定負債		
長期借入金	1,877,328	2,370,258
退職給付に係る負債	34,284	32,712
ポイント引当金	14,663	14,750
資産除去債務	1,064,951	1,067,717
その他	485,450	484,585
固定負債合計	3,476,677	3,970,023
負債合計	11,081,442	9,629,488

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	351,655	351,655
資本剰余金	347,861	348,353
利益剰余金	8,629,766	8,510,834
自己株式	△252,415	△632,944
株主資本合計	9,076,868	8,577,899
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,797	8,138
退職給付に係る調整累計額	14,183	13,640
為替換算調整勘定	33,214	55,106
その他の包括利益累計額合計	62,194	76,885
非支配株主持分	31,004	32,439
純資産合計	9,170,067	8,687,225
負債純資産合計	20,251,509	18,316,714

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年1月31日)
売上高	3,897,997	4,912,277
売上原価	1,630,840	2,073,423
売上総利益	2,267,156	2,838,853
販売費及び一般管理費	2,146,883	2,476,545
営業利益	120,273	362,308
営業外収益		
受取利息	2,420	3,006
受取保証料	6,014	6,014
雇用調整助成金	96,211	—
その他	7,213	7,842
営業外収益合計	111,858	16,863
営業外費用		
支払利息	4,275	4,669
支払手数料	—	2,440
リース解約損	5,256	—
その他	2,458	2,221
営業外費用合計	11,990	9,331
経常利益	220,142	369,841
特別損失		
固定資産除却損	2,259	2,905
特別損失合計	2,259	2,905
税金等調整前四半期純利益	217,883	366,935
法人税、住民税及び事業税	20,998	49,263
法人税等調整額	18,095	138,357
法人税等合計	39,093	187,620
四半期純利益	178,789	179,314
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,399	△795
親会社株主に帰属する四半期純利益	180,188	180,110

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年1月31日)
四半期純利益	178,789	179,314
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,765	△6,658
退職給付に係る調整額	△900	△491
為替換算調整勘定	20,311	23,414
その他の包括利益合計	6,645	16,264
四半期包括利益	185,435	195,579
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	184,120	194,802
非支配株主に係る四半期包括利益	1,314	777

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

当第1四半期連結累計期間において、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性等の見積りを行うにあたり、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の拡大に関する仮定に重要な変更はありません。